



インターネットの維持と当事者意識

～ポリシー開発プロセスを担う視点から～

橘 俊男
Policy-WG

Japan Open Policy Forum

Policy WG

本日のアジェンダ

- JPPDPについて
- JPOPM23開催報告
- インターネットの維持
- 当事者意識
- お願い



About PDP in JAPAN

Japan Open Policy Forum

Policy WG

ポリシーデベロップメントプロセス (PDP)とは

- インターネット番号資源(IPアドレスやAS番号)の配布ルール（アドレスポリシー等）を決める為の手続き

JPNICにおける「アドレスポリシー」

JPNICにおける，IPv4アドレスの取得条件

- 割り当て済みのアドレスについて、ポリシーに従ったアドレスの運用を行っている
- 上位のプロバイダから、すでに/24を割り当てられ使用している、または直後に/24を使用することを証明できる
- 1年以内に/23を使うことを証明できる詳細な計画を提示できる
- 1年以内にそれまで使用していたアドレスから、新たに割り振られるアドレスにリナンバする

JPNICにおける，IPv6アドレスの取得条件


- IP指定事業者であること
- エンドサイトでないこと
- 割り当て先組織に対し、IPv6の接続性を提供する計画があることかつ、IPv4アドレスの割り振りを受けているIPアドレス管理指定事業者であり、割り振りを受けたIPv6アドレスを他の組織へ割り当てまたは再割り振りを行い、2年以内に当該アドレス空間をインタードメインルーティングシステムで広告すること または2年以内に最低でも200の割り当てを行う計画があること。

何故，ポリシープロセス？

- アドレスポリシー等は，IPアドレス利用者のビジネス，オペレーションに直接影響する

最近決まった，影響が大きい(と思われる)ポリシー：

- IPv4アドレスの移転
- 最後/8からのIPv4アドレス分配方法
- 4バイトAS番号の配布
- IPv6アドレスの割り振り簡素化 等々



資源管理ポリシーを議論しているフォーラムの存在，議論の動向をもっと知って頂きたい！

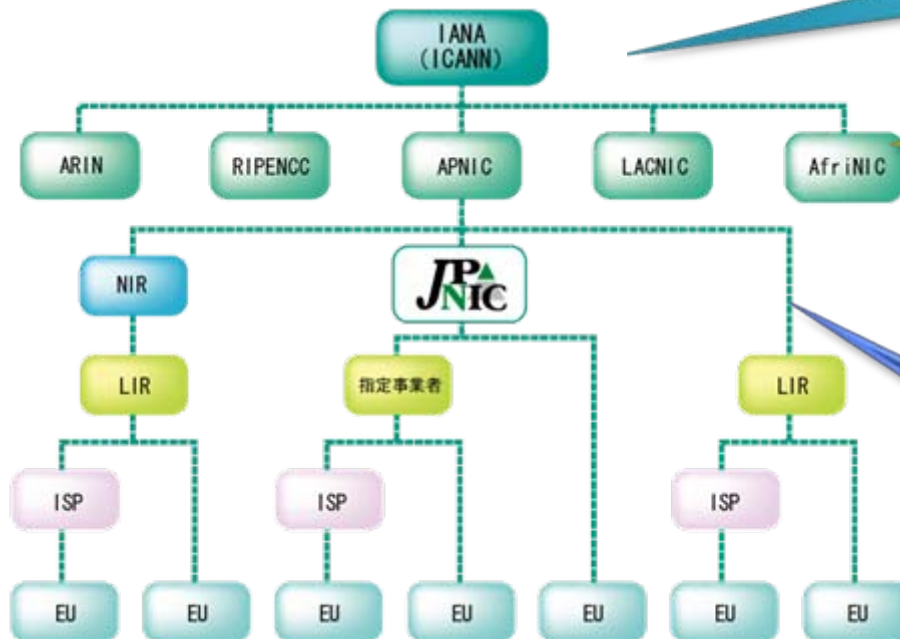
Japan Open Policy Forum

Policy WG

ポリシーの策定

- 資源管理ポリシーは、各資源管理団体の“フォーラム”にて、ボトムアップで議論，決定されます。

インターネット資源管理構造



ICANNレベルのポリシー：
ICANN→RIRへの配布ポリシー
(グローバルポリシー)

RIRレベルのポリシー：
RIRからLIR (ISP等) への配布ポリシー

ポリシー的には従属関係

NIRレベルのポリシー：
国内での配布ポリシー

ポリシーの策定（続）

- **ポリシーを実装する組織**
 - 地域インターネットレジストリ(RIR)
例：APNIC,RIPE/NCC,ARIN,AFRINIC,LACNIC
 - 地域毎に存在する国別インターネットレジストリ(NIR)
例：JPNIC,KRNIC,CNNIC
- **ポリシーの適用対象組織**
 - ローカルインターネットレジストリ(LIR)
 - LIRとは一般にISPを指すことが多い
 - LIRは{RIR|NIR}と契約を行う

ポリシーの適用範囲

階層毎に適用範囲が異なる

- RIRが守るべきポリシー
 - グローバルポリシー
- RIRと契約するLIRが守るべきポリシー
 - グローバルポリシー
 - RIRが定めたポリシー
- NIRと契約するLIRが守るべきポリシー
 - グローバルポリシー
 - RIRが定めたポリシー
 - 「RIRが定めたポリシー」のうちRIRが「国別の事情に沿って変更が可能」としたものをNIRが検討修正の上で実装したポリシー

各ポリシーの提案先

階層毎に提案先は異なる

- グローバルポリシー
 - 全てのRIRでコンセンサスとなる必要がある
- RIRの定めるポリシー
 - RIRのポリシーフォーラム
- NIRの定めるポリシー
 - NIRのポリシーフォーラム

各フォーラムの参加者は全ての提案に対して賛否を表明することができる。すべてのポリシーフォーラムは公開にて運営され参加資格に制限は無い

Japan Open Policy Forum

Policy WG

日本におけるポリシー実装

- ステークホルダー
 - アドレス利用者
 - IPアドレスやAS番号を利用している人や組織
 - RIR/NIR/LIRも含まれる
 - ポリシーの提案を行う事ができる
 - RIR(APNIC)
 - 日本が所属する地域を担当するRIR
 - NIR(JPNIC)
 - APNICとNIR契約を行っている組織
 - APNICのメンバー
 - 国内のLIRと契約を行う組織

日本におけるポリシー実装

- ステークホルダー（続）

- LIR

- JPNICからIPアドレスの分配が実施された組織
 - IPアドレス管理指定事業者

- ポリシーWG

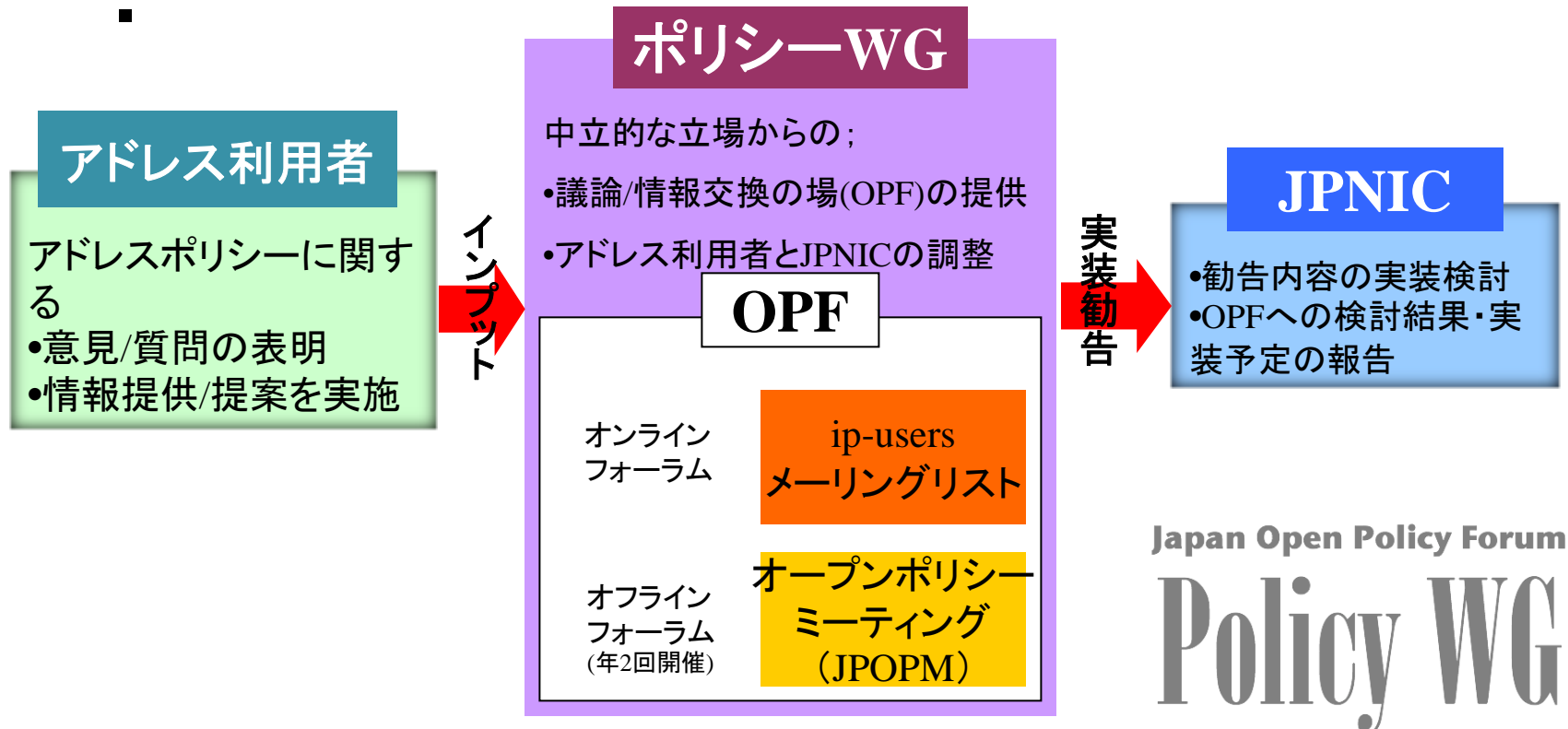
- JPOPFを運営する組織
- ボランティアによる活動
- JPNICからオフラインフォーラム(JPOPF)の実施の為の支援を受けている
- JPOPFでコンセンサスとなったポリシーの実装をJPNICへ勧告する

Japan Open Policy Forum

Policy WG

国内におけるポリシー策定の仕組み

JPNICとは独立した機関「ポリシーWG」がポリシー策定に関する議論の場「オープンポリシーフォーラム(OPF)」を提供しています



実装勧告とは

- 日本で施行されているポリシーについての変更提案がフォーラム内でコンセンサスとなった後に、NIRである JPNICに対して実装を依頼すること
- 実装勧告へのJPNICの対応
(4.1.10. JPNICによる承認プロセス)より
実装勧告に対するJPNICによる実装可否判断は、 JPNICの理事会の審議を経て最終的に決定されます。

ポリシーWGメンバ

- チェア：
橋 俊男
- コ・チェア：
中川 あきら
- メンバ：
赤井 卓
谷崎 文義
豊野 剛

JPOPM22

コンセンサス確認中



議論中

Japan Open Policy Forum

Policy WG

Policy-SIG in APNIC Meeting



Japan Open Policy Forum

Policy WG



JPOPM23 Report

Japan Open Policy Forum

Policy WG

JPOPM23

- **日時・場所**

- 2012/11/19(月) 13:00～18:30
- 富士ソフトアキバプラザ

- **参加者数**

- オンサイト 50名
- オンライン(ストリーミング視聴者)
 - 合計視聴者数 249
 - 平均同時視聴者数 約30

JPOPM23アジェンダ

Informational: 情報提供を目的としたプレゼンテーション
Proposal: ポリシー提案

1. オープニング
JPOPM23 開会挨拶
Action Item 確認
2. 日本のポリシープロセスの紹介
3. アドレスポリシー動向のおさらい
＜休憩＞ 14:20～14:30を予定
4. APNIC34アップデート
5. IPv6 のPI割り当てにおけるマルチホーム要件の撤廃(prop-101 in APNIC)
6. IPv4アドレス移転におけるアドレス需要確認期間の変更(prop-104 in APNIC)
7. APNIC EC Endorseに関連したJP PDP の変更
8. ポリシー策定プロセスの改定
＜休憩＞ 16:40～16:55を予定
9. p022-01 に関するAPNICでの議論状況の報告
10. IPv4アドレス移転の現在の状況について
11. クロージング
コンセンサス確認/まとめ
12. 懇親会(別会場)

Japan Open Policy Forum

Policy WG

コンセンサスになった提案

- [023-03]: IPv6 のPI割り当てにおけるマルチホーム要件の撤廃(prop-101 in APNIC)
- [023-04]: IPv4アドレス移転におけるアドレス需要確認期間の変更(prop-104 in APNIC)
- [023-01]: APNIC EC Endorseに関連したJP PDP の変更

オンラインフォーラム (IP-Users ML)でのコンセンサス確認中
終了予定は2012/12/28(Fri) 23:59 JST

Japan Open Policy Forum

Policy WG

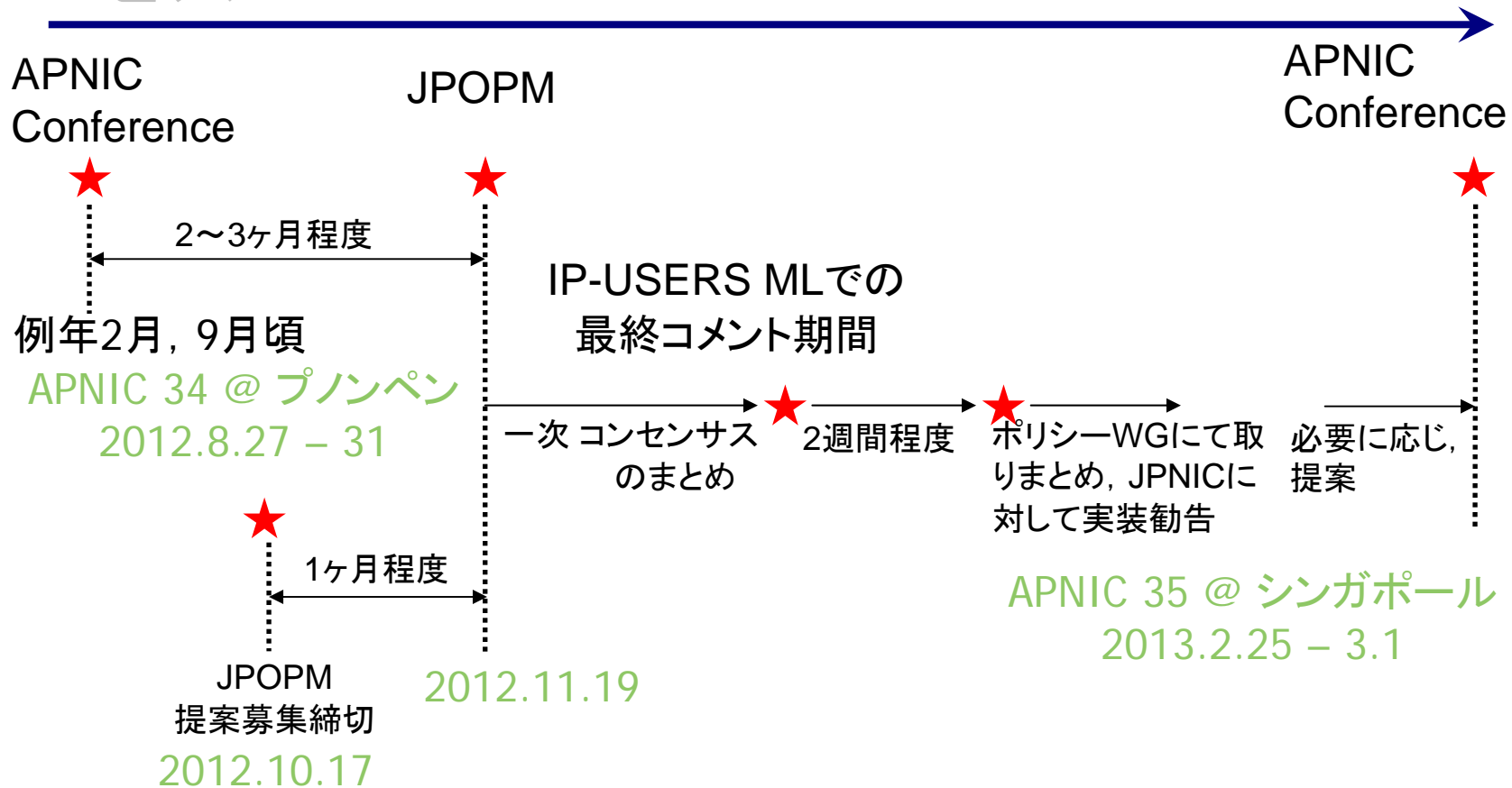
コンセンサスにならなかった提案

- [023-02]: ポリシー策定プロセスの改定

Action Item

- なし

JPOPMを基準にしたポリシー決定プロセス



Japan Open Policy Forum

Policy WG



インターネットの維持

Japan Open Policy Forum

Policy WG

原則(Principles)

- Multi stakeholder model
 - bottom up/open/transparent
- Autonomous/Distributed/Cooperative
 - Not centralize

ステージ(Stages)

- インターネット全般
 - ISOC
- 技術
 - IETF
- ポリシー
 - ICANN,RIRs,NIRs

プレイヤー

- Internet Users
- Service Providers
 - ISP, ASP, CSP
- States
 - Authority , Law enforcement
- International Coordination body
 - UN, APEC, OECD, ICPO, WIPO

Inside of stages

- ISOC
- IETF
- ICANN
- RIRs
- NIRs

ISOC

- 個人と組織会員で構成される
- 個人会員には二つの種類がある
 - Global Membership(Free)
 - Sustaining Membership(75USD/Year)
- Local Chapterという仕組み
 - 地域毎に組成
 - 日本にはISOC-JPというLocal Chapterがある

IETF

- 個人での参加
- 標準化された技術を活用する組織
 - ベンダー
- Internet Draftの作成を通じて標準化に向けた議論を行う
 - Rough Consensus and Running Code

ICANN

- インターネットユーザー
- 番号資源に関連する団体
 - RIR, NIR
- 名前資源に関連する団体
 - Registry, Registrar
- 国や地域の政府機関および諸団体
- 領域毎に定められた議論や決定の仕組みがある

RIRs

- インターネットユーザー
- 地域のインターネット番号資源の管理
に
関与する団体や組織
 - NIR, LIR
- 地域に含まれる国や地域の政府機関
- ポリシーフォーラムによる運営

NIRs

- インターネットユーザー
- 国内のインターネット番号資源の管理
に
関与する団体や組織
 - LIR
- その国や地域の政府機関
- ポリシーフォーラムによる運営



当事者意識

Japan Open Policy Forum

Policy WG

そもそも

- 当事者って誰？
 - インターネット使ってる時点で全員当事者
 - 使っていない人ですらも当事者かも

興味を持つ事は重要

- 関与するしないに関わらず周りの状況を知ることは大事
 - いつか関与するときのための備え

自分はどここの当事者？

- 立場は様々
 - インターネットユーザー
 - サービスプロバイダー
 - 法執行機関
 - その他

なぜ関与するの？

- 多様性が必要
- バランスのとれた維持

バランスが重要なのはなぜ？

- インターネットの特性

「国や地域」 「場所・時間」

これらを超えていけるものだからこそ

- 自律しているから

- 国や特定の単一組織だけに依存しない

バランスをとるには？

- 構成する数がある程度必要
 - 多様性が重要
 - 多けりゃいいわけじゃないが、

数が必要なのはなぜ？

- 「自律している状態」の証明の為

数がないと。。。いろいろ面倒

フリーライダーの論議

- インターネットの中立性
- ビジネスに「使うだけの人」でもインターネットユーザーとして重要

意見表明の重要性

- 一般社会にも通ずる
 - パブリックコメントの仕組み
 - 選挙
- 考える機会は重要

JPNICのメールマガジンで書かせてもらいました。

「インターネットガバナンスと当事者意識」

News & Views Column

vol.980 2012年6月18日

Japan Open Policy Forum

Policy WG

数が必要なのはなぜ？（続

- コミュニティを支える為
 - 人員の選任
 - APNIC Policy-SIG chair election
 - NRO AC election

ある程度の数がいないと、コミュニティの
信託の（見た目上の）価値が下がりかね
ない

数があればいいの？

- 数を確保することは最低限の条件

その上で、、、

- 仕組みや事情を理解した人が増えることが必要



お願い

Japan Open Policy Forum

Policy WG

JPPDPへの参加

番号資源ポリシーに関する議論を、オンラインフォーラムである

ip-users@nic.ad.jp

で行っています。ぜひご参加ください。

ML購読方法

<http://www.nic.ad.jp/ja/profile/ml.html#ipusers>

年二回開催されるJPOPMにもご参加ください

JPNIC会員の皆様への連絡チャネルを通じて御案内いたします。

Japan Open Policy Forum
Policy WG

RIR PDPへの参加



APNIC 35 Conference

2013.2.25 – 3.1

シンガポール

<http://conference.apnic.net/35/>

Japan Open Policy Forum

Policy WG

RIR PDPへの参加(Cont.)

- APNIC35に提出される提案に対してJPコミュニティの意見を収集するためのミーティングを開催します。

詳細は近日発表いたします。

APNIC35の提案締め切り後を予定

各種情報・問い合わせ先

ポリシーWGに関連したご質問、ご要望は、

jpopf@venus.gr.jp まで

オープンポリシーフォーラム ホームページ

<http://venus.gr.jp/opf-jp/>

<http://www.jpopf.net/>

Japan Open Policy Forum

Policy WG